

目標達成計画

作成日: 平成 28年 10月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	職員体制が整わず、恒例であった敬老会が2年開催できていない。 家族会(家族のみ)の開催も1回開催できたきりになっている。 運営推進会議への参加家族が減っている。	28年度中に家族会も兼ねた交流会を開催する。	職員体制を整える(必要であれば、法人内職員等外部より応援要請する)。 開催2ヶ月前から準備を始める。 前回の家族会同様、司会進行は他事業所職員に依頼する。	6ヶ月
2	26	アセスメント様式の見直しを行っていない。 アセスメントからケアプランへの反映が明確になっていない。	アセスメント様式を見直し、ケアプランに反映しやすくする。	アセスメント表の再制作(現在のアセスメント表の活用の見直し) ケアプランの見直し	6ヶ月
3	33	終末期(看取り)に対する医療機関との連携体制や、職員に対する研修会開催等の、実際に施設で実施する準備が十分ではない。	かかりつけ医及び訪問看護等、医療機関と看取りの体制について検討する。 終末期及び看取り支援について必要な研修を職員に実施する。	かかりつけ医に協力体制及び内容の確認 訪問看護事業所に協力体制及び内容の確認 終末期及び看取り支援について職員への研修	12ヶ月
4	2	笑顔マイレージや高校生ボランティア受け入れ施設として登録はしているが、連絡がない。 近隣住民等との交流は行えているが、施設訪問までの関係性ではない。	施設内の風通しを良くするためにも、外部からの訪問者(ボランティア含む)の受け入れを積極的に行う。	笑顔マイレージ、高校生ボランティア受け入れ事業所の登録継続 地域へボランティア募集の広告を作成し、スーパー等に貼って頂く。 親しい地域住民には気軽な訪問を声かける。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。